



森ボラ 通信

第193号 2018年4月20日発行

NPO法人 **北海道森林ボランティア協会**

URL <http://www.shinrin-npo.info/>

札幌市豊平区平岸1条1丁目9-6 ラルズビル3F

Tel. (fax.): (011) 816 - 7010

E-mail: hshinrin2002@nifty.com

トピックス

和田功さん哀悼の辞



和田さんは2004年7月に入会され中心的な役割を担って頂きました。10周年記念誌“森とともに”の編纂、2013年には現在の活動の指針となっている“澄川環境林基本計画”の中心的メンバーとして活躍され、現場では率先垂範して指導的な行動で信望も厚く多くの会員から慕われてましたが、4月4日に帰らぬ人となり大きな柱を失い慙愧の掄に堪えられません。4月11日に避難小屋の傍でお線香、お花、好きだったお酒を持ちより、和田さんのご冥福をお祈りしました。酒井代表幹事からの哀悼に辞を紹介いたします。

<和田さんの急なご逝去を惜しみ心よりご冥福をお祈りいたします>

代表幹事 酒井和彦

4月1日の親子森林教室で和田さんは「木でできているもの」の話をしました。その中で木はセルロースとヘミセルロースとそれらを接着するリグニンとゆうものでできている話をしました。恐らく子供も父兄も会員も理解できる人は少なかったと思います。

用事があるといつて昼食会にも参加せずに帰りましたが体調が悪いためであることは皆知っていました。これは和田さんの次世代を担う子供たちや我々に対する辞世の言葉だった気がします。接着するリグニンの研究は和田さんの大学修士課程でのテーマだったのです。



数年前ですが代表幹事になるように説得した時には断られてしまいました。何でもしますからそれだけとは云っていましたが体調の為であることはわかっていました。性格的には私とは全く別の側の人でしたが、自分がリグニンのようにモノや人を接着する役目に徹したのだと思います。和田さんは植物や森が好きで澄川の森でも「保護区」の設定には特に熱心でこの日もその境界線にテープを貼るために参加していました。



亡くなられて日がたつにつれ、確かに他の会員には手数をかけたけど和田さんらしく森で最期を全うされたのだと思ひ始めています。山が好きな人が山で死ぬことを本望としているように森を好きな人が森で亡くなられたのだと思います。

その遺志をみんなで引き継いで森を大事にしてゆきたく思います。合掌

★第15期定期総会開催のお知らせ★

第16期定期総会を下記の通り開催します。

日時：2017年5月10日（木）15：30～16：30

会場：かでの27 10階 1010会議室（札幌市北区北2条西7丁目/TEL・204-5100）

※なお、開催に当たり開催のご案内と議決委任状を発送しております。ご都合で出席できない会員は事前に事務局あて委任状を送付お願いいたします。

議案

第一号議案 2017年度事業報告、決算報告、監査報告承認の件

第二号議案 2018年事業計画(案)、予算計画(案)承認の件

第三号議案 「森ボラ協議会」に係る件

2017年度事業報告、決算報告・2018年度事業計画(案)

第四号議案 理事改選の件

その他

活動報告

◆ 樹液を味わい、間伐を体験して1年間を締めくくる！

～ 2017年度親子森林教室・森しり隊の第7回(最終回)活動報告～

3月25日(日曜日)、2017年度を締めくくる第7回親子森林教室・森しり隊が、隊員14名、保護者・協会員含めて総勢40名の参加で開催されました。活動テーマは「森を育て、春の目覚めを感じる」で、雪解けが進む澄川の森は快晴でした。

第7回活動経過

9:40～9:55 朝礼・ラジオ体操
9:55～10:30 樹液採取(含移動)
10:30～11:30 間伐体験(含移動)
11:30～11:45 年輪の話
11:45～12:55 昼食・保養センターに移動
12:55～14:10 修了式

まずはスノーシューを履いてB3地区の森に移動し、そこで説明者の西野(悌)さんから樹液採取の方法を学び、イタヤカエデから採れた樹液と事前に採って濃縮していたシロップを味わいました。子どもたちは樹

液から春の目覚めを感じ取ったようです。

次に間伐体験をしました。前回の2月に教えてもらった伐木の方法(倒す方向に受け口を作って、反対側(追い口)から伐り進めていく)をおさらいして、子どもたちは選木してあったマイツリーのシナノキ、イタヤカエデ、アズキナシの萌芽木を手鋸で見事伐り倒し(受け口作りの鉋作業は協会員が手助け)、倒した木の長さを測って2月に目測した値と比べてみることや年輪も数えてみました。

小屋前広場に戻り、森の最後の活動として年輪の話をお聴きました。説明者の酒井さんは輪切りにした42年を数えるハウノキを見せながら、年輪を観察することでその木の生長過程が判ることを子どもたちに話しました。

昼食後、各自の車で修了式の会場である「保養センター駒岡」に移動しました。修了式では、子どもたちと保護者それぞれから1年を通して森しり隊に参加した感想を発表してもらいました。その一端を紹介します。

●(子どもから) 初めて木を植えたとき、周りにあるような大木になったらすごいなぁと感じました。ずーと先の事ですが、地球温暖化も進んでしまっているので、植樹を沢山していきたいです。他にもホタルのきれいなかな光を見たり、化粧炭やコースターを作ったり、木の高さや太さを測ったことも印象に残っています。今までの森を育てるという体験を経験にかえ、しょう来に役立てていきたいです。作った物などにはおいがよく一生使える物なので、環境にもやさしく、とてもいいなと思っています。これからも森林や自然遺産、環境、林業などについて、もっと学んでいきたいです。二年間、森



この一滴を味わう



間伐を体験する

との思い出を作ってくれたり、自然などの大切さを教えて下さり本当にありがとうございました。

- (保護者から) 私達親子は2年間活動に参加しました。森しり隊スタッフの多さに驚き、活発な活動内容に感銘を受けました。1年間のスケジュールを無事にこなすために準備や打合せが大変だったと思います。1年目に、息子たちが澄川の森で人生初めて体験したことを忘れないでほしいと思います。

例えば、バーニングベンでのネームプレート作り、原始的な火起こし、化粧炭、手作りカンジキ、初めて食べたコクワ、間伐作業などです。2年目はクリが不作だったことで森が生きている事、森の役割や食物連鎖の事、少し解りました。子どもたちが大人になった時に今の自然がそのまま残っている様に子どもたちの記憶に残したいです。私は種の3W (water、wing、wildlife) を覚えました。家で育てているアオダモの木は、息子が野球をしているのでバットにできる程大きく大切に育てたいと思います。最後に、親子で貴重な経験をさせていただきありがとうございました。皆さん、いつまでも健康でお過ごしください。HPなどで活動を見守り、陰ながら応援しています。



修了証を手にした第二期森しり隊員たち

最後は直径25cmほどのハウノキで作った修了証(楯)を贈呈して2017年度第二期目の親子森林教室・森しり隊の活動を終わりました。既に三期目の2018年度が始まっていますが、更に充実した親子森林教室にしていきたいと思いますので会員の皆様のご協力をよろしくお願い致します。(文・清澤)

◆FM ラジオ出演

3月14日北ネットの宮本尚さんのお誘いでラジオカロスFM78.1MHzに出演しました。司会は以前お世話になった「手稲さと川探検隊」の鈴木玲代表で若者代表のout woodsの足立成亮君とベテラン代表としての私でした。

前回の北ネットのフォーラムや新聞情報では森に関心を持つ人が増えてきているようで期待したいと思います。森づくりの話の合間に親子森林教室とオイスカフォーラムの告知を入れていただきました。(文・酒井)



◆澄川南小学校2年生林内観察会(紅桜公園横の森)

昨年は当会員の到着が少し遅れ、すでに生徒が道路を横断しているところでしたが今年は朝礼を早めていただき道路横断の交通整理が間に合っていました。

この横断場所は見通しが悪く凍結路面の為、緊張が走る所です。今年は2月26日、2年生70名が学校近くの紅桜公園横の森に冬芽と動物の足跡観察にやってきました。

酒井さんから当協会の紹介並びに観察会の内容説明の後、スノーシューを前日に履く練習をしたせいか素早く履き終えた子と少し協会員が手伝って履き終えた子、色々ですが昨年より15名ぐらい増えたにも関わらずスムーズに終えた気がしました。



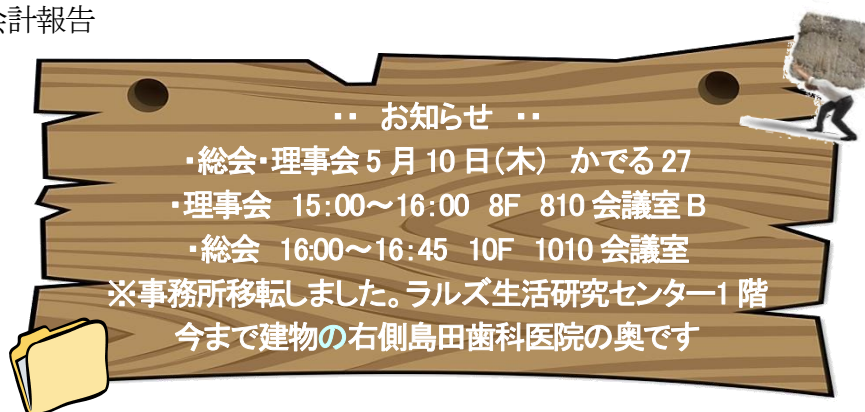
その後10班に分かれて観察開始。当協会員も17名が参加して子供達の支援を行い頂上付近では澄川の森から持ってきた冬芽(3種類)の説明と既存の樹に寄りかかって生長する蔓の話聞いた後、時間が余ったので恒例になっている尻滑りやキツネの足跡を辿ったりして楽しい観察会になったと思います。

【追記】この森の利用について学校から地主さんに了解を得て頂くよう酒井さんからお願いしました。(文・大窪)

■今月の幹事会

出席者：市山・大窪・樫棒・清澤・酒井・佐野・高野・釣井・西野

1. 2018年5月、6月スケジュール
2. 第16期総会資料擦り合わせ
3. 第3期親子森林教室開校式
新しいスタッフの役割分担案について
4. 2018年度森林・山林多面的發揮機能対策計画案
5. 2018年度支笏湖活動、植栽計画及び宿泊
6. 澄川環境林アライ熊の足跡確認
北海道衛生局生物多様性保全課に状況報告
7. マダニ関連情報
8. その他
 - ・キノコホダ木の管理について
 - ・新事務所の会議室使用について
 - ・2017年3月会計報告



■活動履歴

月日	行事・活動地	参加数	活動内容
3月19日(月)	澄川	17	E-4 チルホールで懸り木3処理
3月23日(金)	澄川	13	E-5 のコクワ保護の為ロープで囲い(2カ所)
3月25日(日)	澄川	16	第7回親子森林教室。駒岡保養センターで修了式
3月27日(火)	澄川	19	ホダ木整理 シイタケ用100本、ナメコ用122本
3月29日(水)	澄川	13	E-4 整理伐、懸り木、集材。標準木調査
4月1日(日)	エルプラザ	12	第3期親子森林教室開校式
4月2日(月)	澄川	10	E-3, 4 ロープウインチと手作業で集材。杭皮むき
4月4日(水)	澄川	14	和田さん心疾患で札幌大搬送、その後死亡
4月6日(金)	ラルズビル	0	中止
4月7日(土)	澄川	0	中止
4月11日(水)	澄川	18	和田さん追悼セレモニー、E-5, 6, 7の境界策定
4月14日(土)	澄川	13	E-5 傾斜木・枯損木の整理伐の選定
4月16日(月)	澄川	13	支柱用杭皮むき(57本)、ロープウインチの集材作業終了